

在宅医療の四日市モデル



医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック 石賀丈士

多死時代を迎えて

	年間死亡者	在宅看取り率	在宅看取り数
2015年	127万人	12.8%	16万人
2025年	160万人	30%	48万人

増加する32万人に
どう対応するか？

年間100名以上看取るクリニック
現在全国に50数ヶ所しかない
3200か所必要

在宅医療の担い手

三次 在宅	在宅 特化型	年間看取り 100名以上	医師 4名
二次 在宅	在支診 (強化型等)	年間看取り 20名以上	医師 1~2名
一次 在宅	かかりつけ医	年間看取り 5名以上	医師 1名

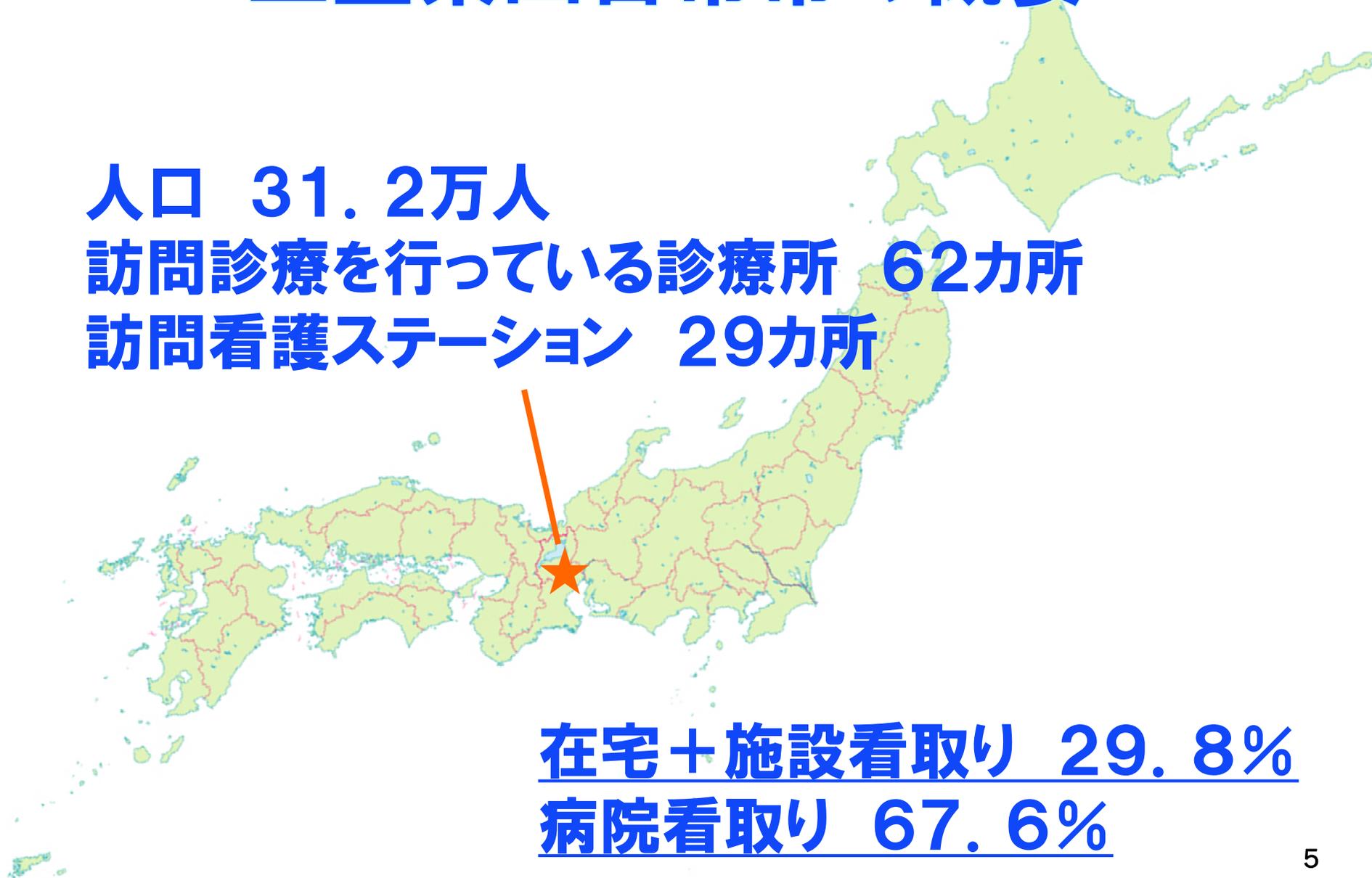


三重県四日市市の概要

人口 31.2万人

訪問診療を行っている診療所 62カ所

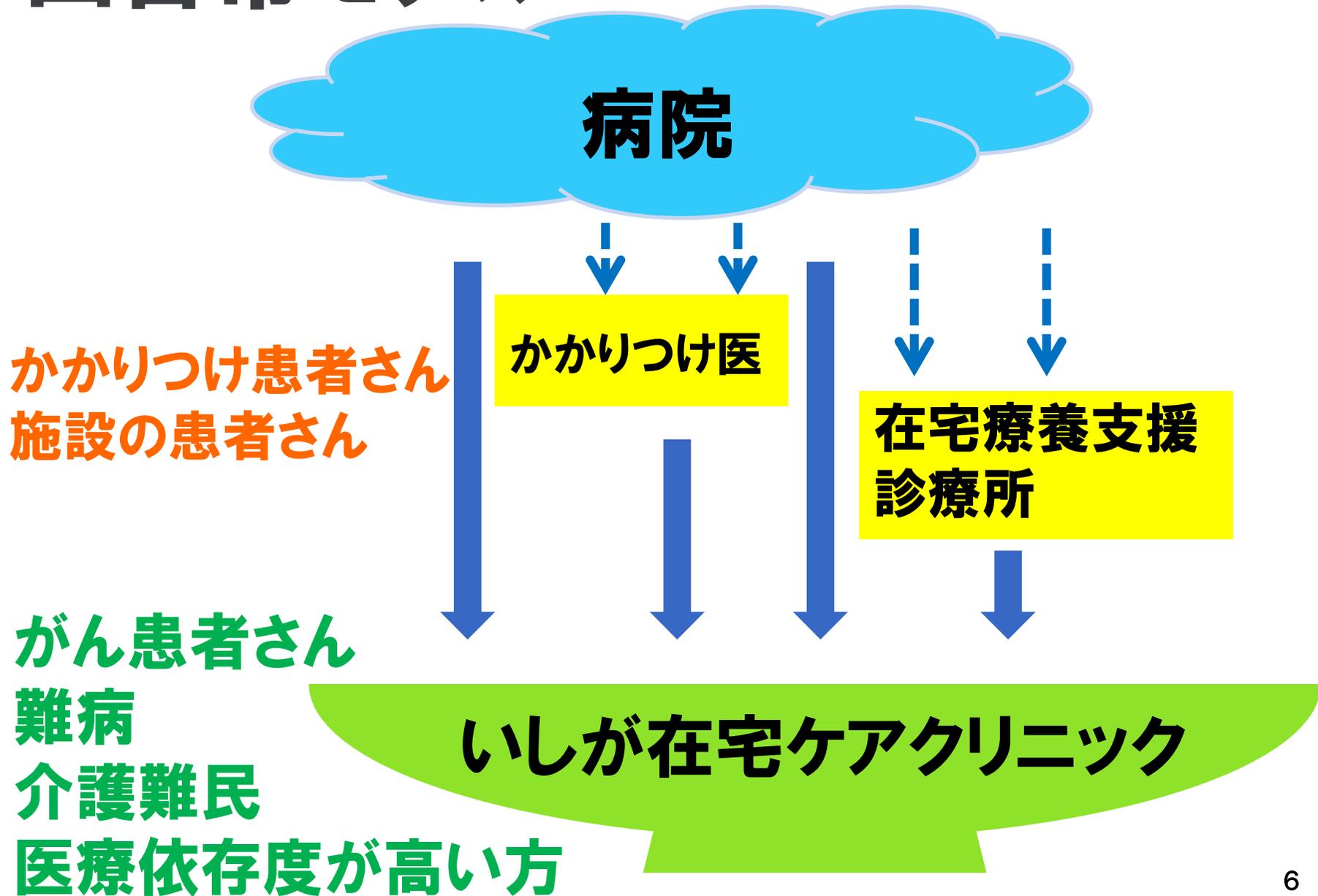
訪問看護ステーション 29カ所



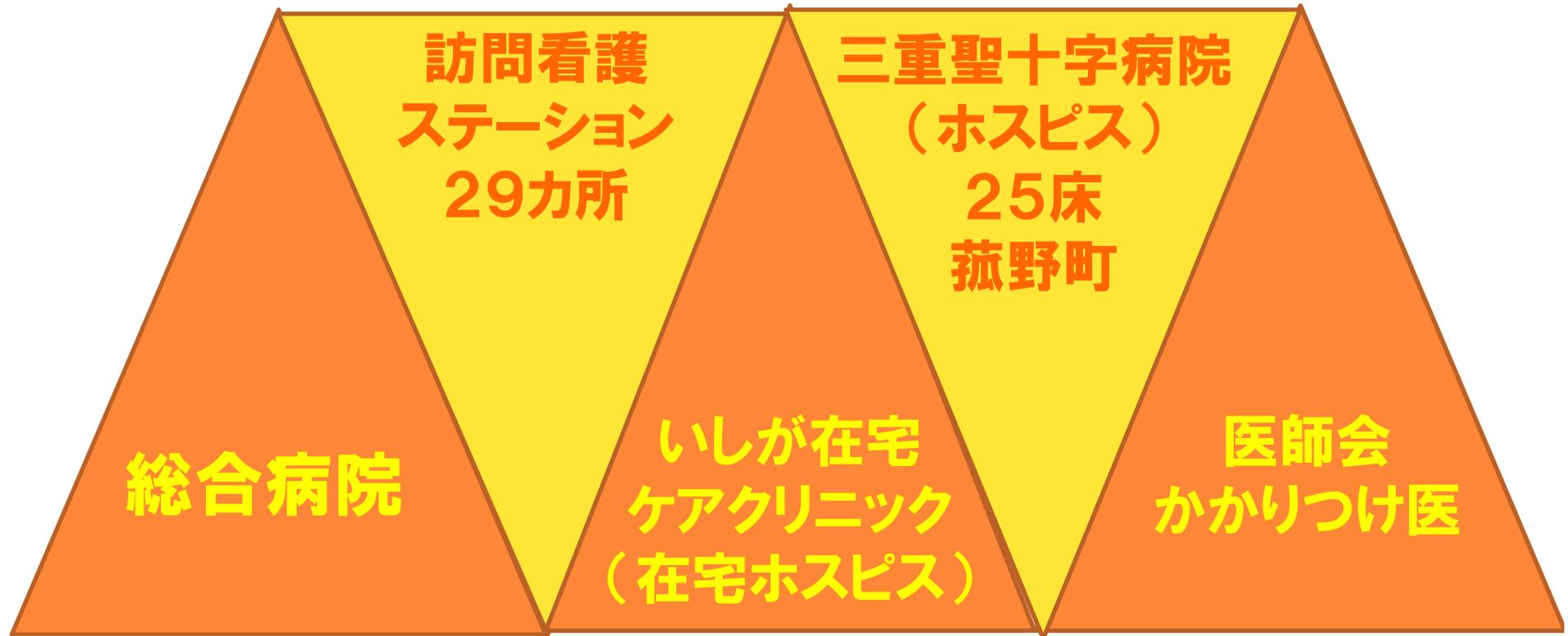
在宅＋施設看取り 29.8%

病院看取り 67.6%

四日市モデル

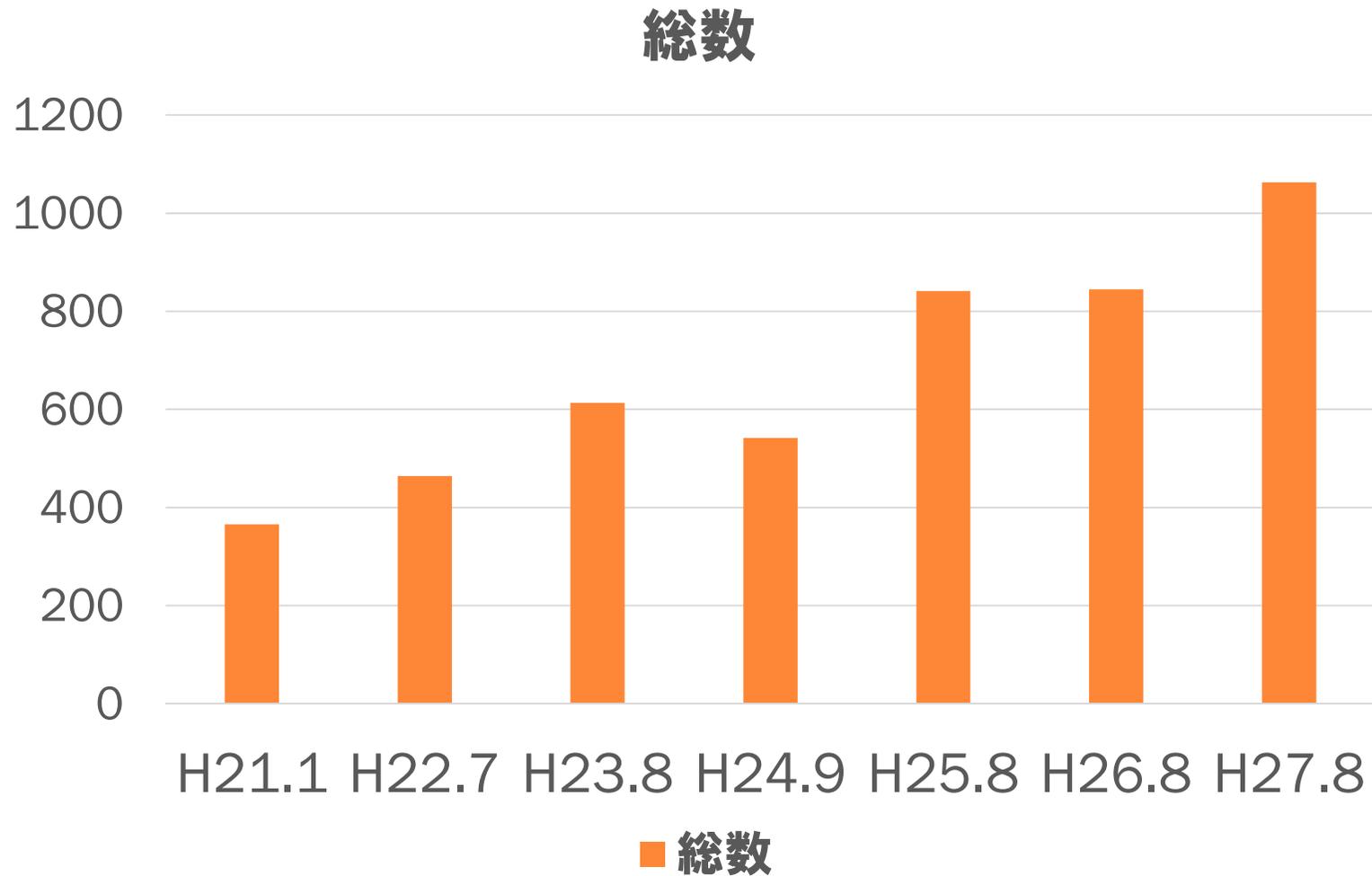


四日市市のがん患者さんを支える医療資源



四日市市の訪問看護利用率は全国トップレベル

四日市市の在宅患者総数



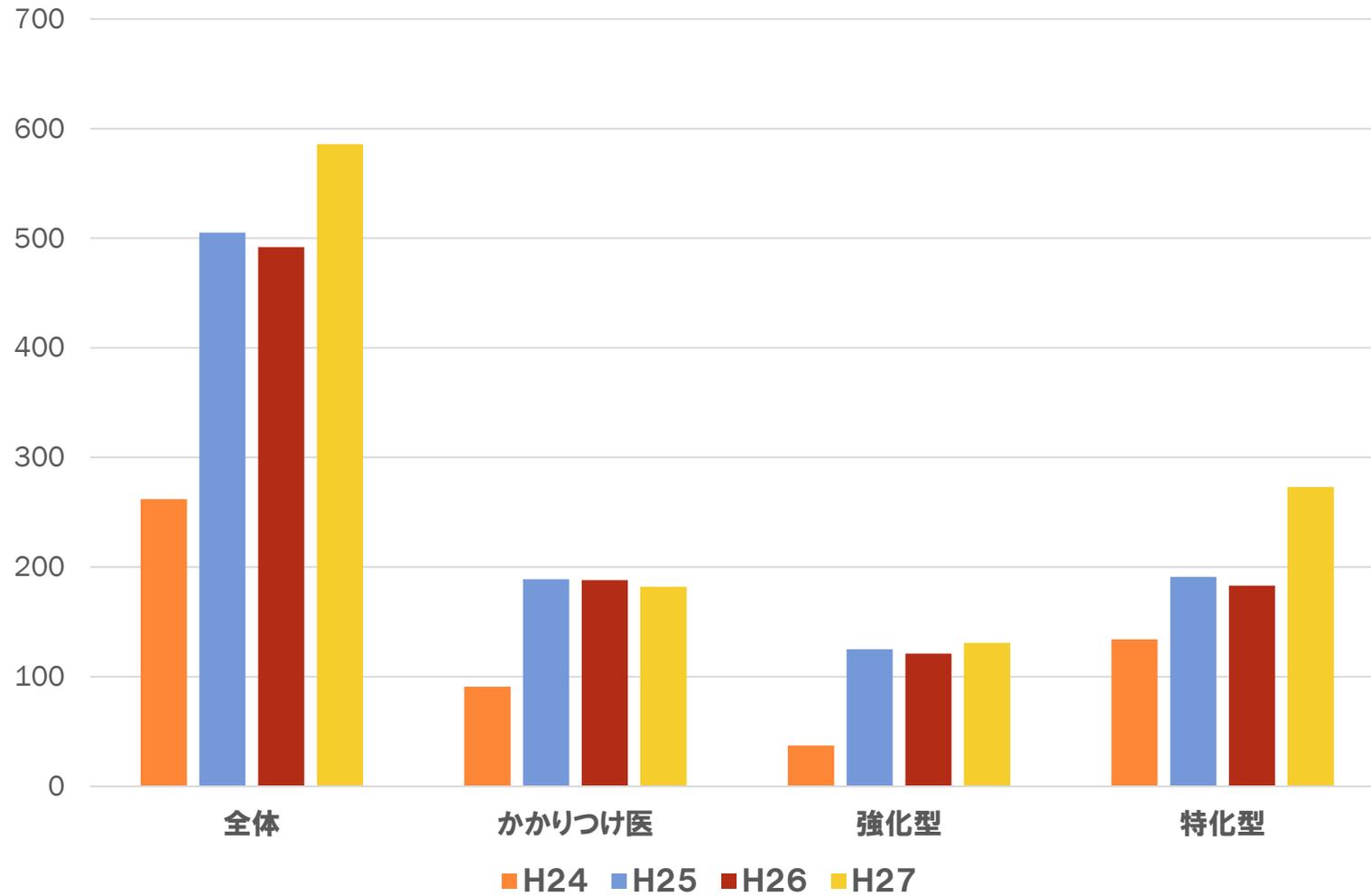
在宅患者人数別 医療機関数

	1-5	6-10	11-20	21以上
全体	32	12	6	11
かかりつけ医	29	9	4	5
強化型	3	3	2	5
在宅特化型	0	0	0	1

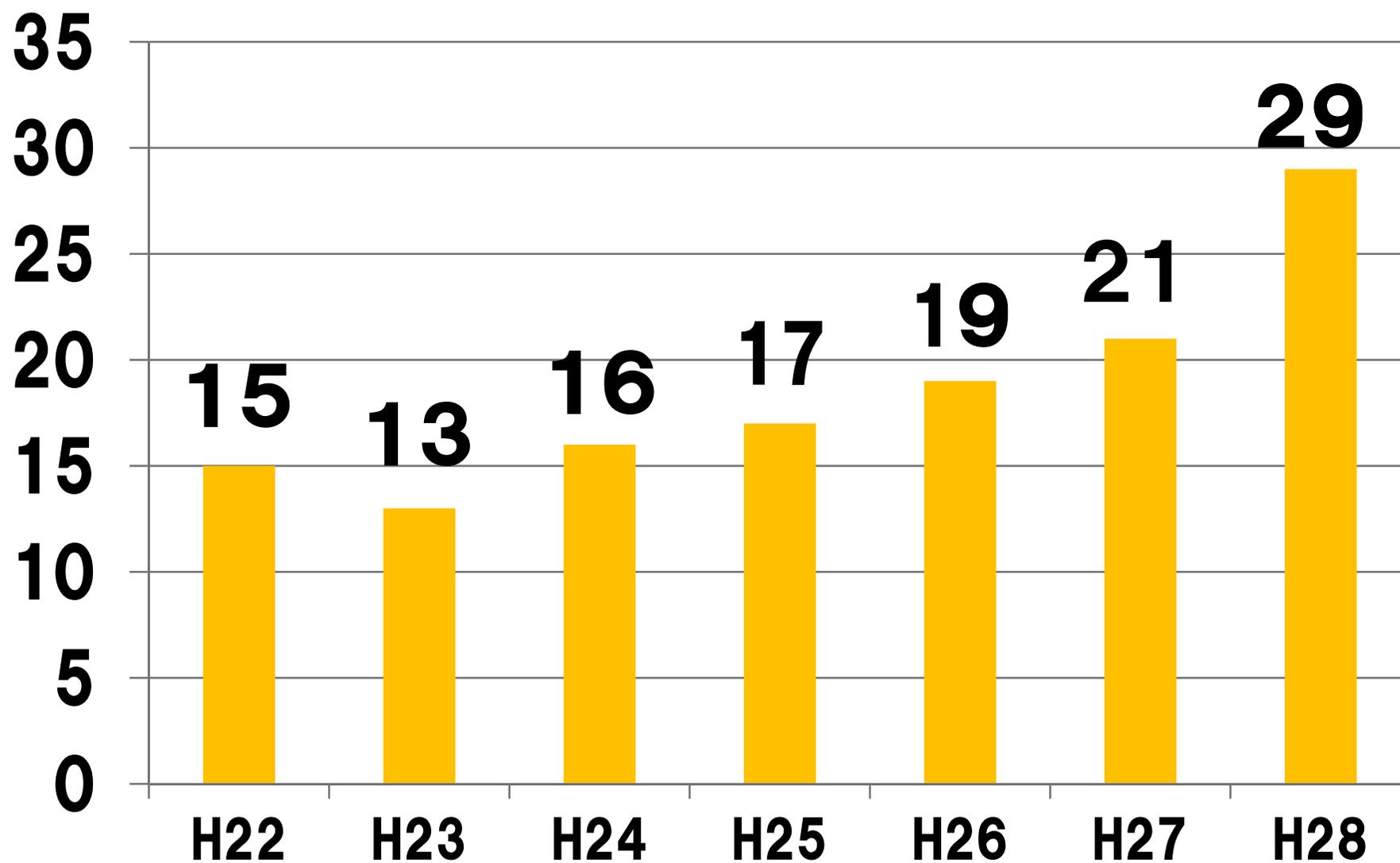
年間看取り人数別 医療機関数

	1-5	6-10	11-20	21以上
全体	40	7	8	4
かかりつけ医	35	4	5	1
強化型	5	3	3	2
在宅特化型	0	0	0	1

看取り数の推移



四日市市の訪問看護ステーション数



四日市在宅医療研究会

平成19年5月(第1回)~

平成29年1月(第58回)まで開催

- 座談会形式と講義形式を交互に
- 医師会の在宅委員が4~5人で座長持ち回り
- 医師会員の在宅医療のスキルアップが目的
- 医師以外の参加も可能
- 顔の見える関係づくりに役立っている

四日市市が制作した 在宅医療のパンフレット



四日市市が制作した
看取りのパンフレット



第6回 東海北陸在宅医療推進フォーラム

第6回 東海北陸 在宅医療 推進フォーラム
在宅ケアをすすめよう
～地域包括ケアの窓として～

参加無料
事前申込
不要

日時 2015年12月13日(日)
13:00～16:30(12:30受付開始)

会場 四日市市文化会館 第2ホール(590席)
三重県四日市市安島2丁目5-3

プログラム(敬称略)

基調講演Ⅰ「病から詩が生まれる…認知症の場合」
大井 玄(在宅内科医・東大名誉教授・公衆衛生学者)

基調講演Ⅱ「看取り経験を子供たちに」～在宅医療の四日市モデル～
石賀 丈士(いしが在宅ケアクリニック院長)
座長 遠藤 太一郎(いせ在宅医療クリニック院長)

シンポジウム「四日市の地域ケアの話をしよう」

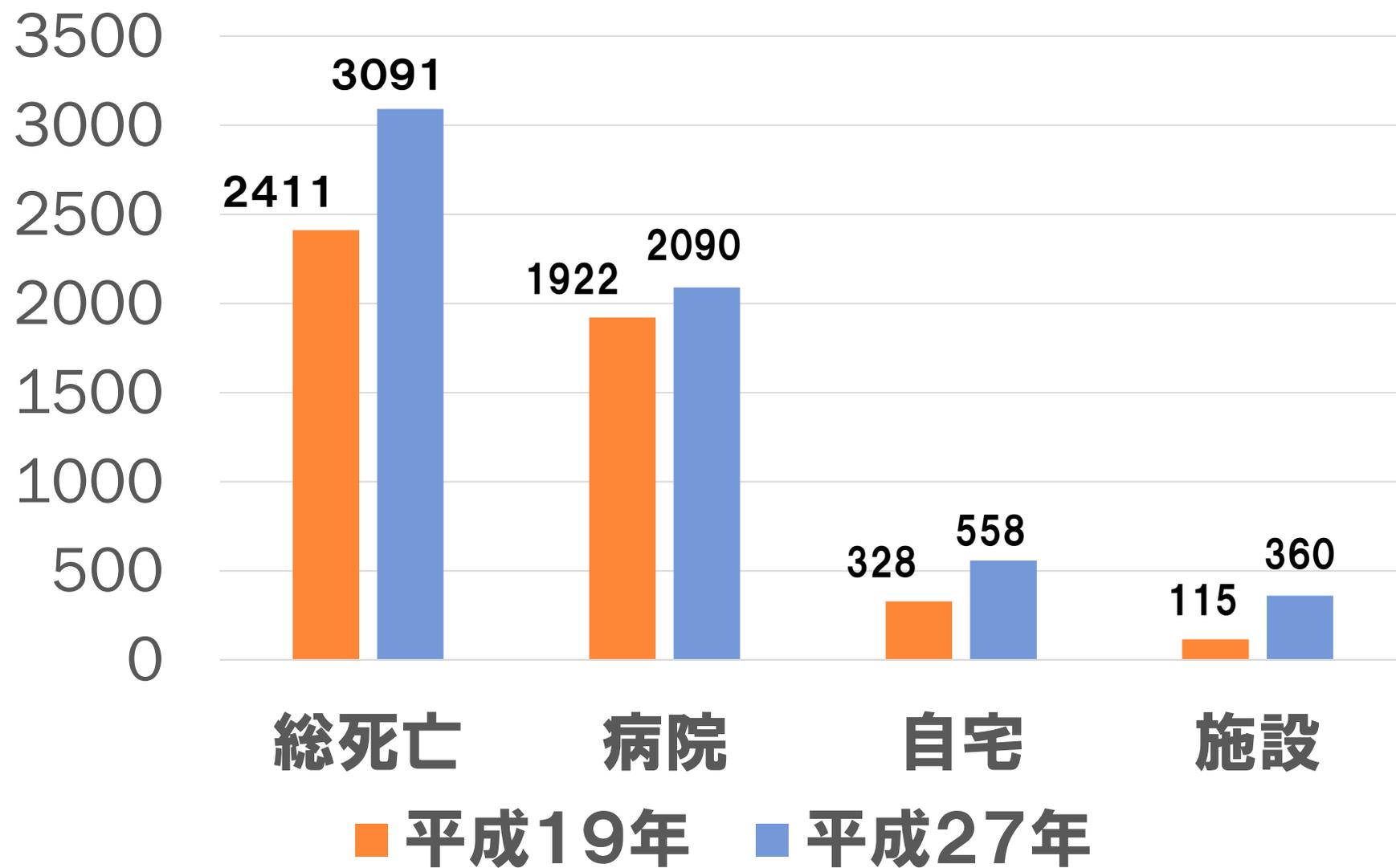
主催 第6回東海北陸在宅医療推進フォーラム三重県実行委員会・四日市医師会

共催 四日市市・鈴鹿市医師会・社会福祉法人青山里会・全国在宅療養支援診療所連絡会
三重県医師会・三重県保険医協会・公益社団法人三重看護協会・三重県社会福祉協議会

後援 三重県医療ソーシャルワーカー協会・三重県歯科医師会・三重県薬剤師会
三重県訪問看護ステーション連絡協議会四日市地区・三重県訪問リハビリテーション連絡協議会・三重県介護支援専門員協会
四日市(歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション連絡協議会・訪問リハビリテーション連絡協議会・市保健委員会)

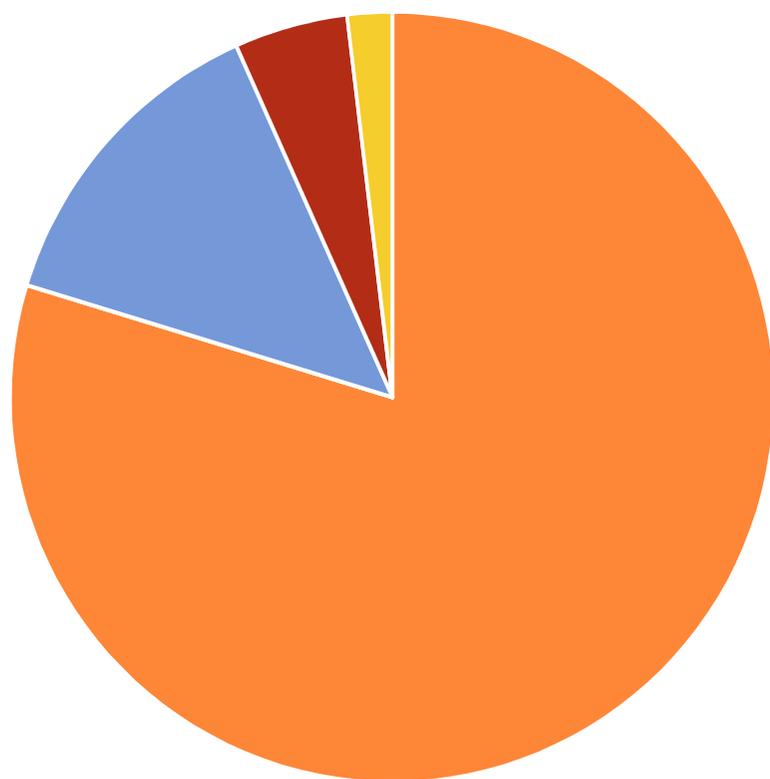
16
重美記念財団の助成を受けていま

四日市市における死亡場所の変化

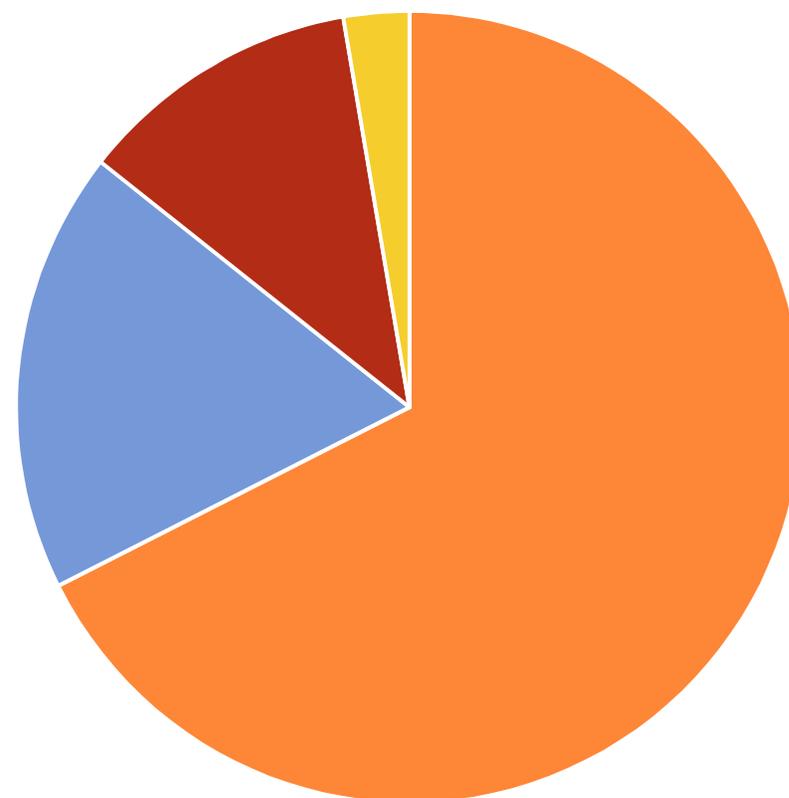


四日市市における死亡場所の変化

平成19年

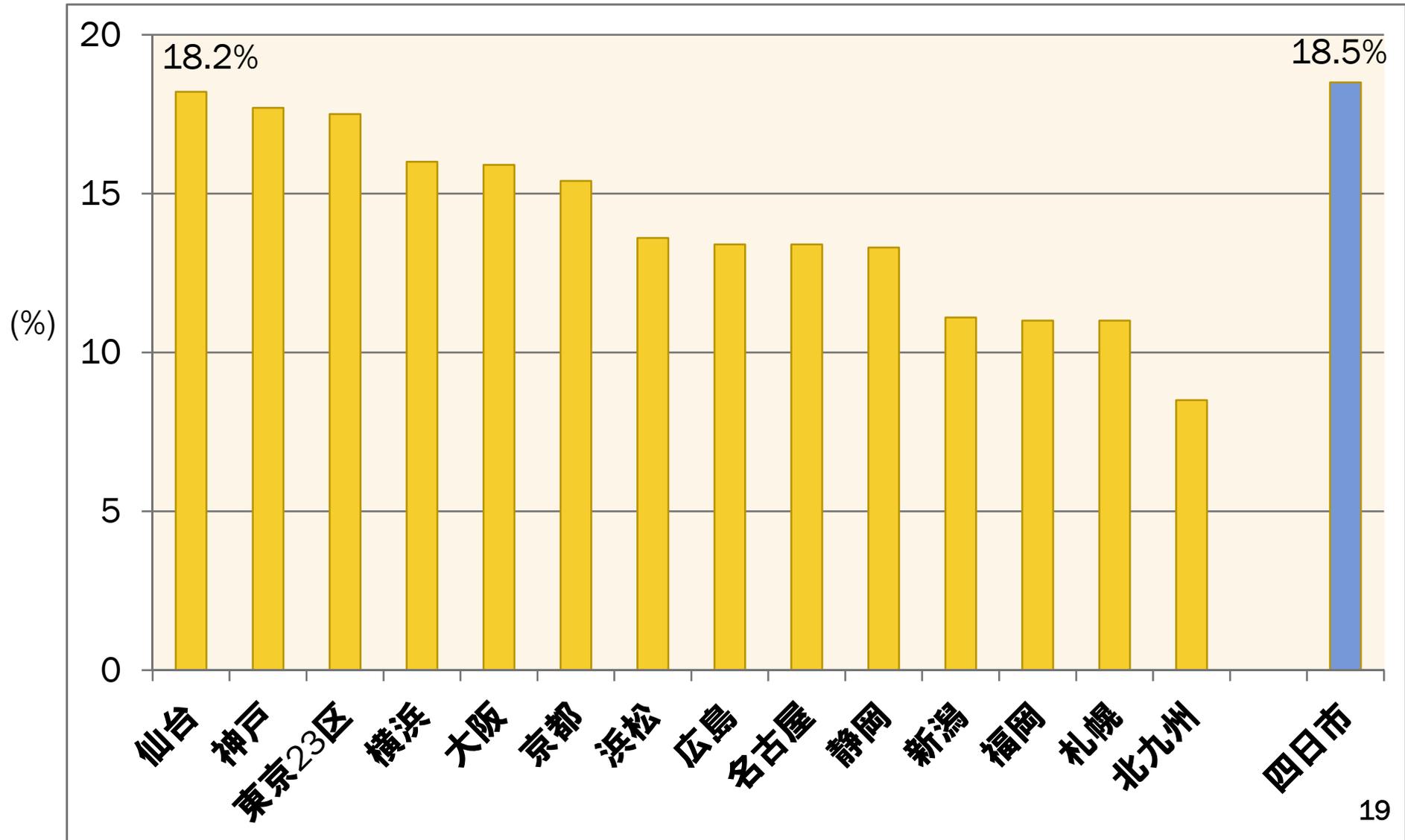


平成27年



■ 病院 ■ 自宅 ■ 施設 ■ その他

全国主要都市の在宅看取り率 (平成24年)



四日市モデルの成果(看取りの場)

	四日市 平成19年	四日市 平成27年	全国 平成27年
自宅	13.6%	18.1%↑	12.7%
施設	4.8%	11.7%↑	8.6%
病院	79.7%	67.6%↓	76.6%

自宅・施設の看取りは進み、病院死は全国最少レベルに

いしが在宅ケアクリニックの概要 (在宅ホスピス型)

2009年7月開院

三重県四日市市:人口31.2万人

緩和ケアを中心としたクリニック

(現在訪問中)

自宅 292名

施設 171名

年間在宅看取り数

H27 312名(西日本一)

H28 274名



チームZAITAKU 34名

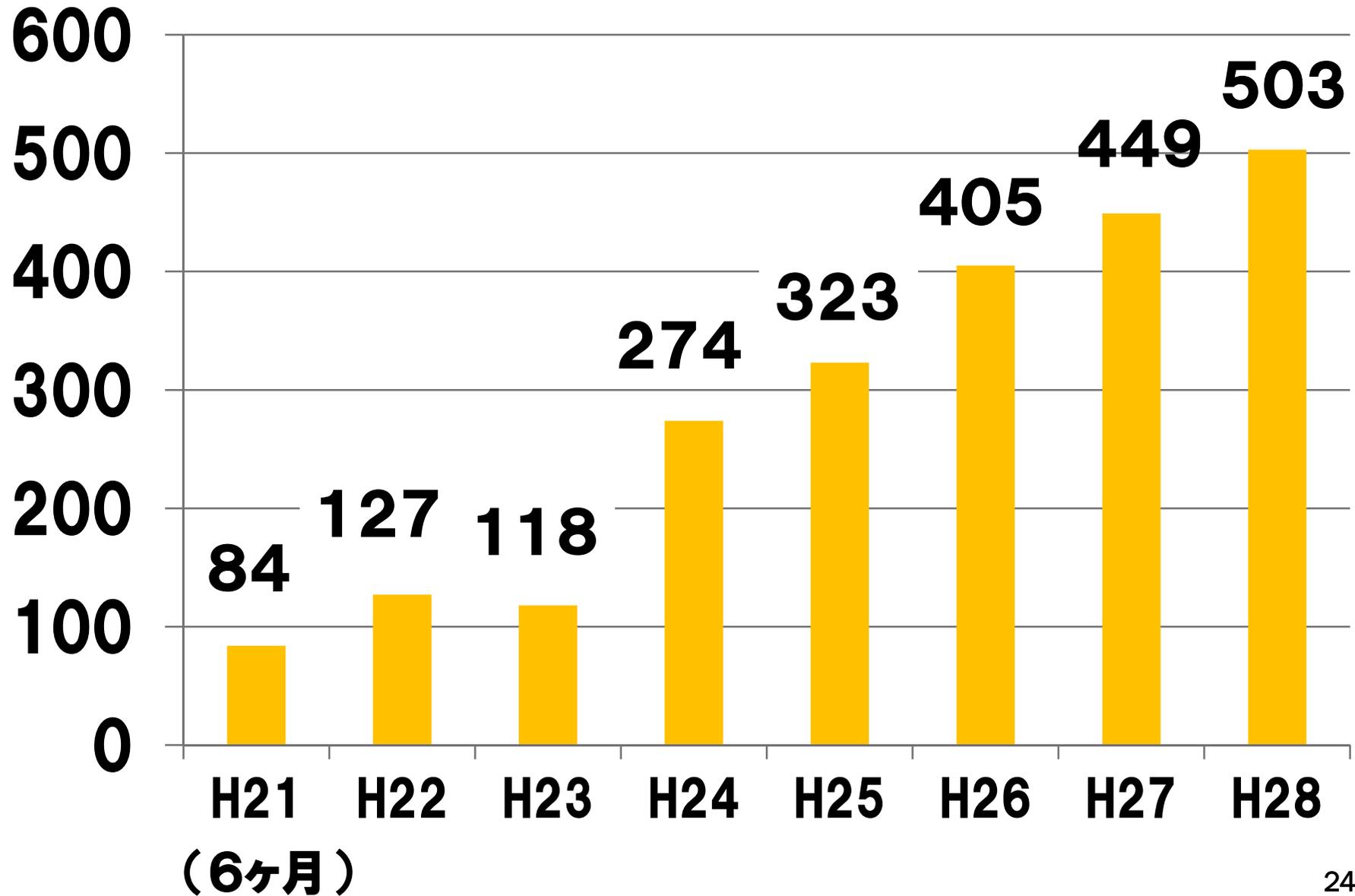
常勤医師	7名	看護師	12名
非常勤医師	1名	医療事務	11名
		ケアマネジャー	3名

クリニックから概ね半径約10km以内
または車で約30分以内の地域



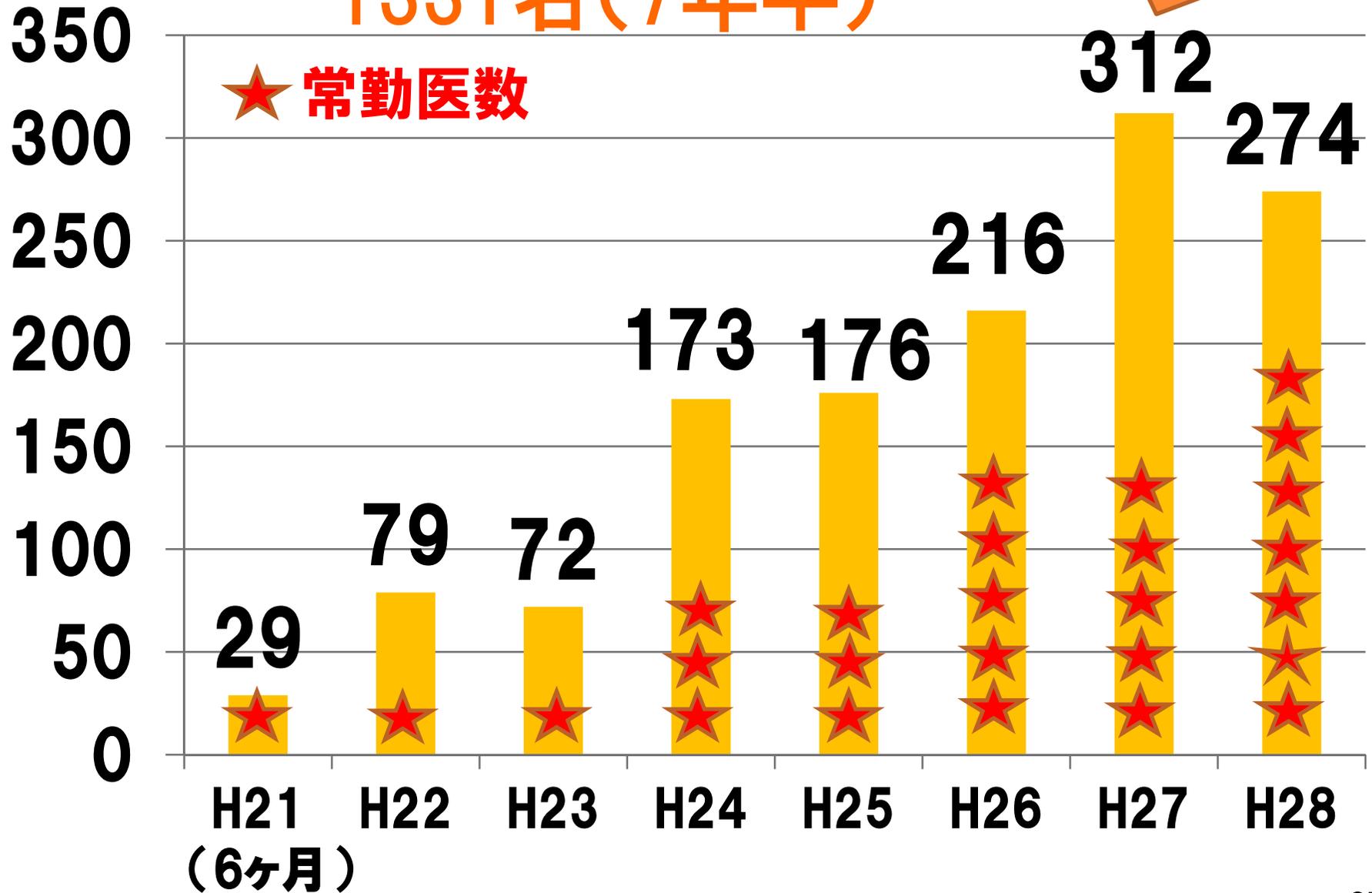
いしが
在宅ケアクリニック

新規訪問患者数

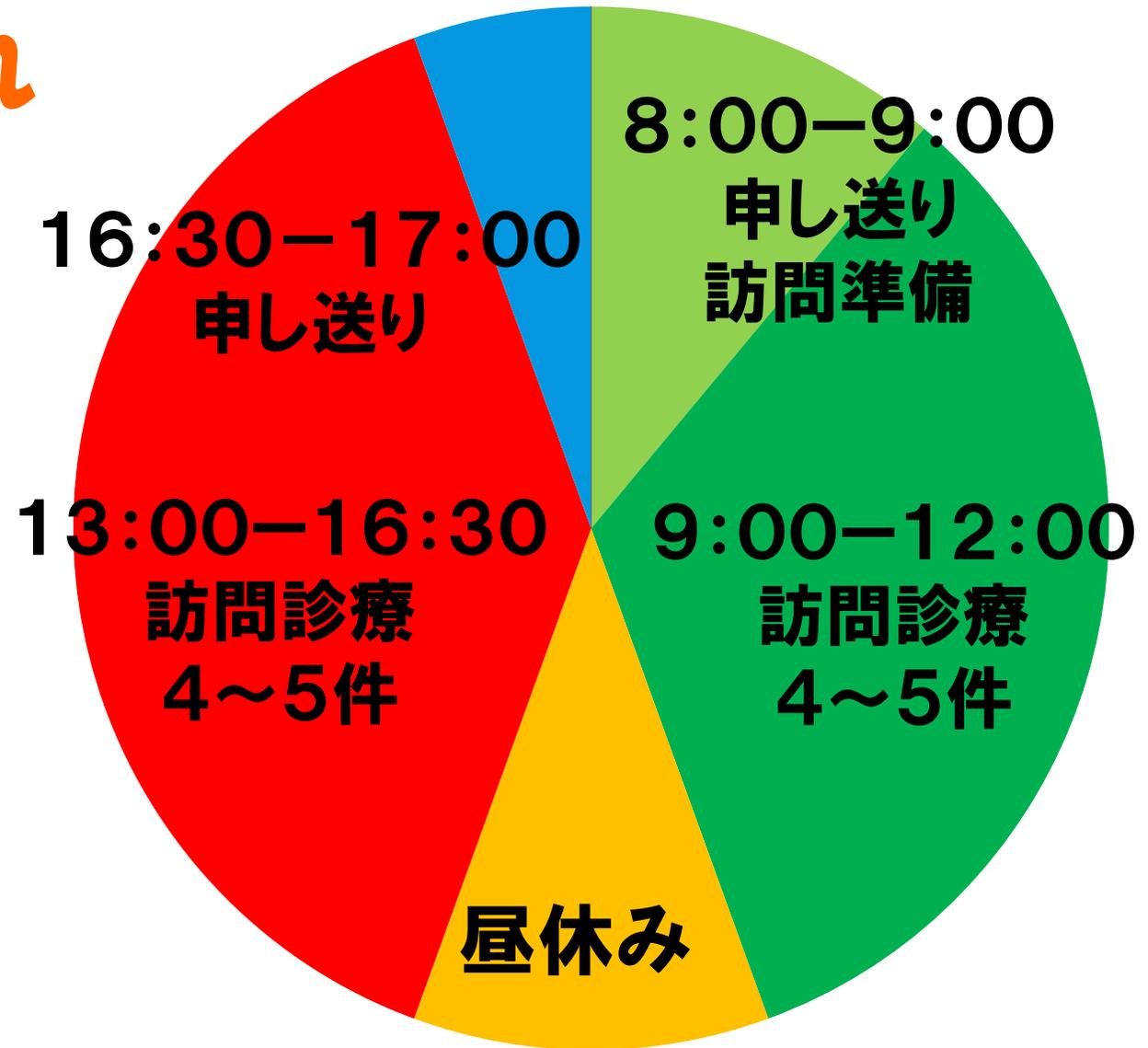


在宅看取り数 1331名(7年半)

西日本
第1位



1日の流れ



夜間休日は当番医師がすべて対応

時間外の往診

平日 17時～翌朝8時(15時間)

平均 1.94 回

休日 8時～翌朝8時(24時間)

平均 6.22 回

当院の基本的考え方

地域とのつながりを大切に

- ◆ 訪問看護ステーションを作らない
- ◆ 入院施設を作らない
- ◆ 施設を作らない

スタッフが疲弊しない仕組みづくり

- ◆ 17時終業、有給休暇は全消化
- ◆ 1日の訪問件数は基本10件まで
- ◆ 夜間休日はすべて医師が対応
- ◆ 看護師は日中の業務に専念(連携・診療補助・運転)

人材育成

- ◆ 医師らしくない多様な人材を集める
- ◆ 緩和ケアのプロフェッショナルを育成する
- ◆ 医療は究極のサービス業であるという意識

在宅医療を普及させるために

- ◆ 講演活動
- ◆ いのちの授業(小中学校)
- ◆ ホームページ
- ◆ 書籍

石賀丈士

緩和ケア医が教える
末期がん患者が
人生を全うする方法

最期まで、
命かがやいて



14年間で1000人を看取ってきた
39歳の若手緩和ケア医が語る

末期がん患者が最期まで
自分らしく過ごす在宅医療とは

残された日を
いちばんの
親友と
過ごした青年

余命2か月を
乗り越え、
娘の成人式を
見届けた母

念願の
クリスマス
パーティーで、
家族に囲まれて
旅立った父



幻冬舎 定価(本体0000円+税)

自分も家族も
「満足死」のすすめ

人生の最後に
笑顔で死ねる
31の心得



延命治療、抗ガン剤、胃ろう、腹水、
お迎え現象、死の瞬間……すべてを語る

1000人を看取った
緩和ケア医が明かす
後悔しない生き方

石賀丈士
いしが在宅ケアクリニック院長
マキノ出版